



鶴見 義明 議員(日本共産党)

新型コロナウイルス
感染症対策について



Q 栃木県のまん延防止等重点措置が、令和4年3月21日までの再延長となったが、全く先が見えないのが現実である。現在行っている無料の抗原定量検査は、無症状の人たちを助け出すという非常に大きな意義があり、必要性がさらに高まるのではないかと思う。

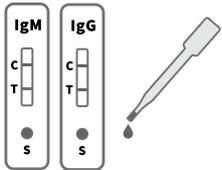
そこで、当初令和4年3月までだった無料の抗原定量検査の期間を延長することを求めたいと思うが、現在の考えを伺いたい。

A 健康医療部長

感染拡大防止のために、症状がない方の心配をされている方もいらっしゃると思いますので、無料抗原定量検査については、令和4年度の予算の中にも、無料の抗原定量検査費用を計上しました。

その他の質問

☆就学援助について
☆国民健康保険税について



小森 隆一 議員(公明党)

空き家対策について



Q 空き家等を活用した移住促進を加速させる施策等と住宅セーフティネット制度への取組状況を伺いたい。

A 市長

空き家を利用した施策については、現在、本市への定住を目的に空き家バンクを利用し空き家を取得した方を対象に、改修費用に対する補助を行っています。このほか若者等移住定住促進奨励金として、市外から転入し住宅を取得した若者世帯を対象に奨励金を交付しています。

A 都市建設部長

住宅セーフティネット制度は、民間の空き家、空き室を活用して、高齢者や障がい者、子育て世帯、低所得者世帯などの住宅の確保に配慮が必要な方に、入居を拒まない賃貸住宅の提供を促進する制度です。空き家の利活用として有効活用の一つであると考えますので、今後は周知啓発を図りたいと考えています。

その他の質問

☆新型コロナウイルスワクチン接種について
☆社会的孤立対策について



小倉 健一 議員(自由民主党)

佐野市の公共交通に
ついて



Q 赤見中学校区、あそ野学園義務教育学校区の高校生には、足利方面への長距離の自転車通学や毎日の保護者送迎など厳しい通学環境の生徒がいる。現足利線の活用促進と新たな路線の整備が必要と考えるが、見解を伺いたい。

A 都市建設部長

足利線の利用促進については、地域性もあり、運行経路などの変更を行った場合、現在の利用者に影響が生じるおそれがあるため、大幅な変更は困難だと考えています。

新たな路線の整備については、現在策定中の佐野市地域公共交通計画に移動の効率化を図るための市内、市外移動手段の役割分担が示されています。また、本市から他市へバスを新規に乗り入れする場合、既存の公共交通と競合が生じないかなど、十分な協議が必要となります。現段階では、足利市への新規路線の整備は困難だと考えています。

その他の質問

☆新型コロナウイルス感染症自宅療養者支援について